

果樹 9 月上旬の巡回調査結果の概要について

このことについて、以下のとおりですので、病害虫防除指導の参考にしてください。

【東北信】巡回日 9 月 4、5、8、9 日

1 りんご（東信 3 ほ場、北信 8 ほ場）

- （1）褐斑病は、北信 4 ほ場でみられ、発病枝率は 3.3% であった。
- （2）輪紋病は、東信 2 ほ場、北信 4 ほ場でみられ、発病果率は 0.3～1.0% であった。
- （3）炭疽病は、東信 1 ほ場、北信 2 ほ場でみられ（図 1）、発病果率は 0.3～0.7% であった。
- （4）リンゴハダニは、東信 2 ほ場、北信 4 ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。

ナミハダニは、東信 3 ほ場、北信 6 ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。

いずれの種も、10 葉当たり寄生虫数が 100 頭を超える多発傾向の地点はなかった。

リンゴサビダニは、いずれの地点でもみられなかった。

2 ぶどう（東信 1 ほ場、北信 5 ほ場）

- （1）べと病は、東信 1 ほ場、北信 2 ほ場で発病がみられ、発病新梢率は 5.0～65.0%、発病葉率は 0.3～11.2% であった。
- （2）黒とう病は、巡回調査対象品種では発病がみられなかったが、北信地域の調査対象外品種で発病を観察した。
- （3）さび病は、北信地域の 1 ほ場で発病がみられ（図 2）、発病葉率は 1.0% であった。
- （4）クビアカスカシバの加害はみられなかった

3 もも（東信 2 ほ場、北信 4 ほ場）

- （1）モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- （2）クビアカツヤカミキリ、モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。



図 1 りんご炭疽病の発病果（北信地域）



図 2 ぶどうさび病の発病葉（北信地域）

【中南信】巡回日 9 月 4、8、9 日

1 りんご（南信 5 ほ場、中信 5 ほ場）

- （1）褐斑病の発病はみられなかった。
- （2）輪紋病の発病はみられなかった。
- （3）炭疽病の発病はみられなかった。
- （4）リンゴハダニは、南信 1 ほ場、中信 1 ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。
ナミハダニは、南信 3 ほ場、中信 5 ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。
リンゴサビダニの寄生はみられなかった。

2 ぶどう（南信 2 ほ場、中信 3 ほ場）

- （1）晚腐病の発病はみられなかった。
- （2）さび病の発病はみられなかった。
- （3）べと病は、中信の 1 ほ場で発病がみられ、発病新梢率は 15.0%、発病葉率は 4.2%であった。
- （4）黒とう病の発病はみられなかった。
- （5）クビアカスカシバの加害はみられなかった。

3 もも（南信 1 ほ場、中信 1 ほ場）

- （1）モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- （2）クビアカツヤカミキリ、モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

4 かき（南信 3 ほ場）

- （1）うどんこ病の発生はみられなかった。
- （2）炭疽病、円星落葉病の発生はみられなかった。
- （3）フジコナカイガラムシの発生はみられなかった。
- （4）カキクダアザミウマ、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類の寄生はみられなかった。

【侵入警戒病害虫】

りんごの調査ほ場において、火傷病、コドリングアの発生はいずれもみられなかった。

<訂正>

中南信の 8 月下旬の果樹調査概要でりんごの輪紋病、炭疽病の発病がみられたと記述しましたが、日焼けによる症状でした。訂正いたします。